

改題 第 75 号

2007年 7月 2日

## 飯田橋だより

○発行 東京清掃労働組合

一組本庁支部

○編集 山崎 精一

### 一組総支部

#### 第二回臨時大会 開催！

6月29日清掃会館地下会議室で一組総支部の第二回臨時大会が開催されました。代議員総数43名に対して31名が出席しました。本庁支部からは西田代議員が参加しました。(坂東代議員は研修のため欠席)

#### ○ 注目集めた来賓挨拶 ○

岩田総支部委員長の挨拶と西川東京清掃本部委員長の来賓挨拶に続いて、初めて来賓として参加された三名から挨拶がありました。

特区連を代表して中條書記長は一組の存在が未だに不安定であり、職員の暫定的な身分の取り扱いが終わる21年度以降も区派遣職員が一組に残ることを見据えて、一組総支部とも情報交換をしていきたい、という提起がありました。

続いて、練馬区の池尻成二区議と大田区の新野恵子区議からご挨拶がありました。お二人とも特別区が進めるプラスチック焼却に反対し、区議会の中でもごみ問題を積極的に取り上げられています。両区議から安心して安定的な工場運営のためにはアウトソーシングに反対し、今後も一組総支部と関係を深めていきたいという力強い意思表示がありました。ごみ問題・環境問題だけではなく工場に働く労働者の問題も課題とされているお二人からのお話を聴くことができ、参加者一同自分たちの運動に自信を深めることができました。

#### ○ 組合活動規制に対処 ○

この臨時大会は当局の進める時間内組合活動の見直しにどう対処するか意思一致するために設定されました。具体的には8月1日から時間内の機関会議が有給から無給職免に切り替えられるのに対して、どのように総支部

・支部の会議を開催し、賃金カットの補償をどのようにするか決めるのが目的でした。

次の6本の議案が提案されました。

- 1 時間内組合活動の制限に伴う総支部方針
- 2 補正予算
- 3 清掃工場委託反対闘争
- 4 設備管理と事務の採用要求と総支部の団結
- 5 組織対策
- 6 規約改正

#### ○ 修正・補強案も ○

全ての議案について多くの質問、意見が出されました。特に第二組合との攻防を展開している江東工場支部からは分担金や役員の任期などについて修正案・補強案も提案されました。執行部とのやりとりの結果、修正案、補強案は取り下げられ、6本の議案が全て満場一致で可決されました。

8月以降、一組総支部としては時間内に組合の会議を開くという原則を貫きつつ、できる限り経済的打撃、役員への負担を減らすような創意工夫をしていきます。また各支部でもそれぞれの職場に応じた取り組みにより、自治労をつぶそうという今回の攻撃を撥ね返していくことが問われています。

一組総支部は今回の大会により各工場支部の連合体としての組織構成を確認し、区派遣の職員を含めた一組に働く全ての労働者を総支部に総結集する準備を整えました。

#### ○ 本部大会に向けて ○

東京清掃本部は総支部とは反対に、組合の会議は原則として時間外で行い、必要に応じて時間内でも行い、その場合は全額賃金カット補償することになっています。今後は組合運動犠牲者救援資金の適用のあり方が具体的な問題となりますので、9月30日予定の本部大会に向けて検討し取り組んでいきます。

## 総支部 ボウリング大会

### 半数の人に賞品が

6月27日、一組総支部主催のボウリング大会が田町の東京ポートボウルで開催されました。総勢42名が参加し、2ゲームの熱戦を繰り広げました。

#### 一位は驚異的スコア

一位は墨田工場の石野隆行さんで、452点というとんでもないスコアで、賞品の折りたたみ自転車を獲得しました。

施設建設部の佐藤慎一郎さんは317点で8位の好成績でした。7位までは全員賞品があり、8位以下はランダムに割り当てられ、全部で23人が賞品をもらえるようになっていたため、残念ながら賞品をもらえませんでした。同じく施設建設部の大越直さんは241点の32位でした。

施設管理部の山崎精一は224点の35位で、前回のブービー賞に続き、今回も賞品をもらいました。

#### 野球大会にも参加を！

秋には野球大会が予定されていますので、本庁からも参加しましょう。